

寸又峡温泉

1. 目指すべき景観像

本州で唯一の原生自然環境保全地域を源流に持ち、
大自然を誰もが気軽に満喫できる日本一清楚な温泉保養地 寸又峡温泉



① 大自然を満喫できるpromナードコースと寸又三山



② 絶景も楽しめるアクセス道路



③ 日本一清楚な温泉街

2. 地域特性と景観形成の主な課題

寸又峡温泉は、「大自然を満喫できるプロムナードコースと寸又三山」、「絶景も楽しめるアクセス道路」及び「日本一清楚な温泉街」の3つの側面があるため、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

① 大自然を満喫できるプロムナードコースと寸又三山



川根本町の北部に位置し、南アルプス登山の入り口でもある寸又峡。多様な動植物が生息しており、寸又三山をはじめ南アルプス前衛の雄大な自然を形成し、国有林のレクリエーションの森(飛龍橋自然観察教育林)にも選定されています。

また、寸又川源流部には原生自然環境保全地域があり、寸又峡全体が奥大井県立自然公園の地域内でもあります。

地域内にある、プロムナードコースは森林鉄道敷跡で、寸又峡地区にある渓谷や森林などの自然景観を体感することができ、コース内には観光スポットでもある夢の吊橋もあります。

森に足を踏み入れると、ハイキングのできる外森山ハイキングコースやグリーンシャワーロード、本格的な登山のできる寸又三山(沢口山、朝日岳、前黒法師岳)では、四季折々の大自然を感じることができます。

〈 景観形成の主な課題 〉

- ・生長する木々が眺望地点や美しい景色を遮り、地域の魅力を損ねている
- ・案内看板の形状やデザイン、色彩などが不揃いで統一されていない
- ・誰もが、安全に心置きなく自然景観を楽しむため、コースの安全性確保や散策しやすい路面の確保が必要

② 絶景も楽しめるアクセス道路



寸又峡温泉地区へのアクセス道路、県道77号線は、寸又峡温泉地区に到着するまでの間に、絶景の眺望景観や渓谷を楽しむ事のできるスポットが数多くあり、寸又峡温泉地区に向かう過程で特別な体験ができる場所でもあります。

〈 景観形成の主な課題 〉

- ・生長する木々が眺望地点や美しい景色を遮り、地域の魅力を損ねている
- ・アクセス道路から見える樹木は針葉樹が多く、広葉樹が少ないため、眺望景観の魅力が半減している
- ・繁忙期は特に寸又峡温泉地区までのアクセス道路で渋滞が発生し、快適に訪れることができない

③ 日本一清楚な温泉街



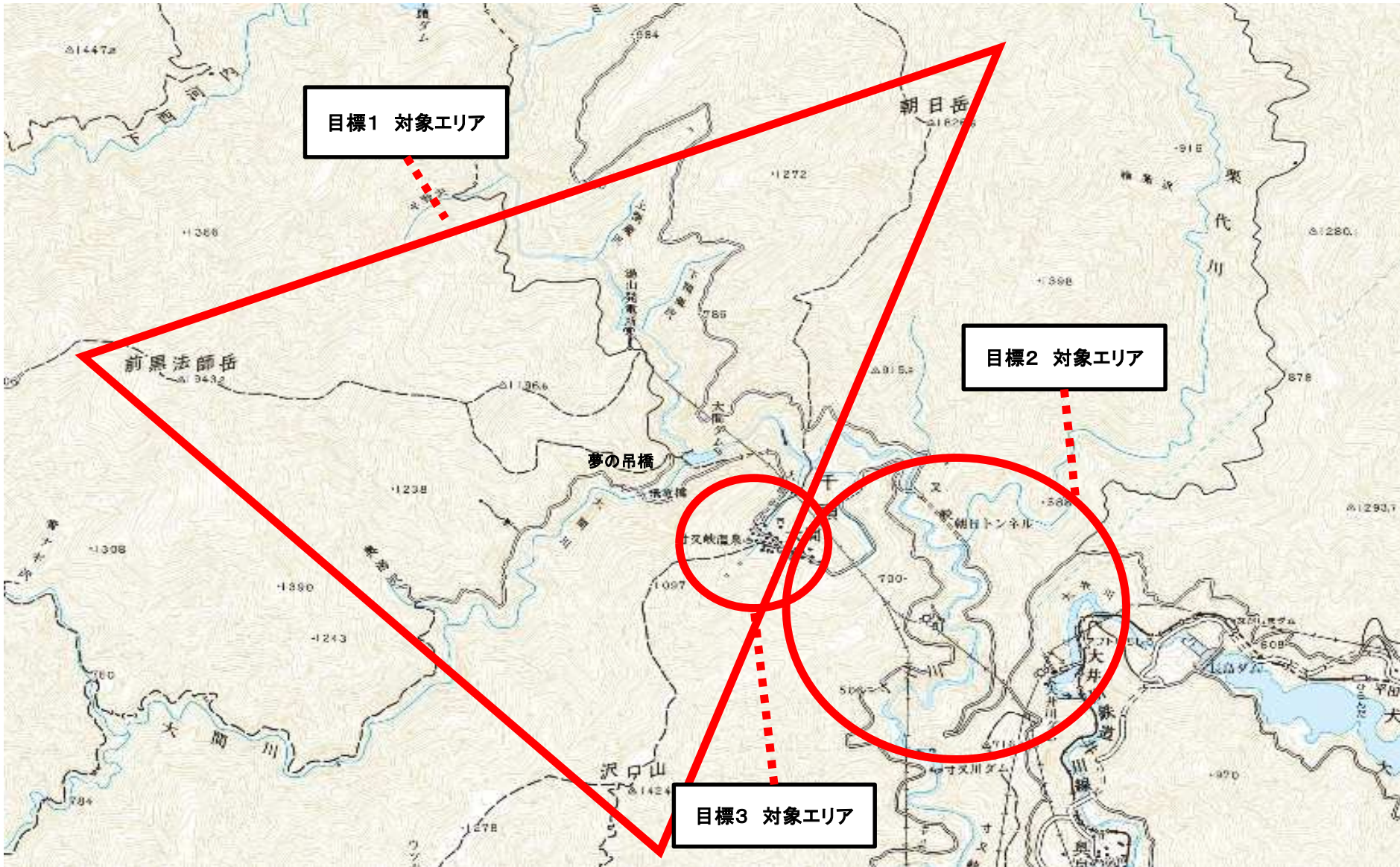
寸又峡温泉地区は、昭和37年に温泉が開湯したことをきっかけに、温泉をメインとする観光業が盛んとなりました。寸又峡温泉地区はこれまで、「芸者やコンパニオンは置かない」、「ネオンサインはつけない」、「山への立て看板は設置しない」の三原則を堅持しながら、日本一清楚な温泉保養地を目指してきました。

また、寸又峡温泉地区では、春には「春を呼ぶ天狗まつり」、夏には「南アルプス寸又口山開き」、秋には「和紙のあかり展」、「寸又峡もみじまつり」、冬には「寸又峡温泉感謝祭」など四季をとおした様々な催しが行われており、地域の文化や風情を感じることができます。

〈 景観形成の主な課題 〉

- ・案内看板が無い、情報が分かりにくいなどの案内看板があり、温泉街を快適に移動できない
- ・散策途中に休憩する場所や景観をくつろいで楽しむ場所が不足している
- ・季節の催事をとおした、そこでしか体感できない景観が十分提供できていない
- ・空き家、空き地が発生し、地域の景観を損なっている
- ・地域の優れた景観の情報が、十分に来訪者に伝わっていない
- ・温泉街の景観や地区の自然景観を快適に散策する環境の整備が必要

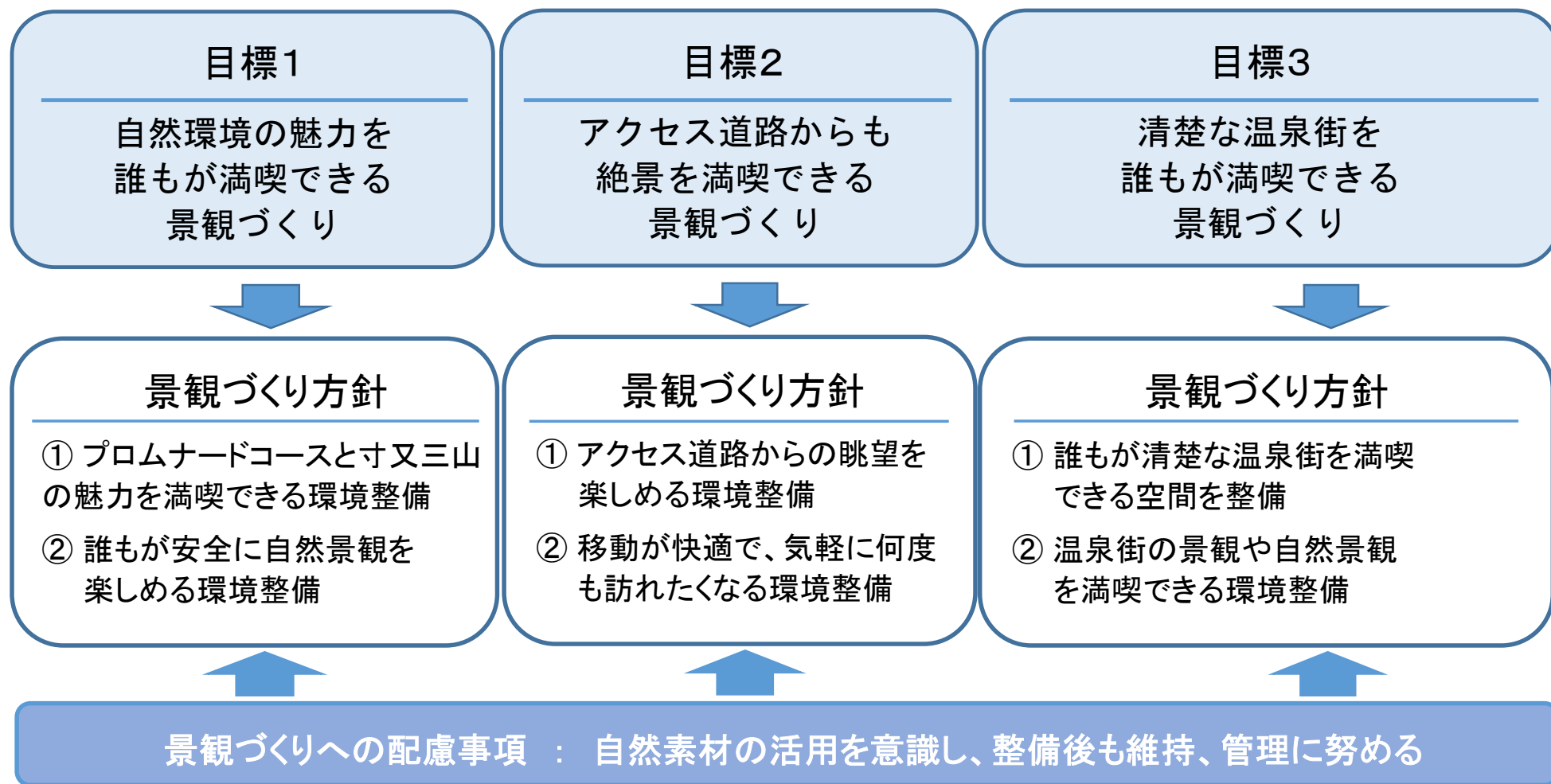
3. 対象エリア



出典:町管内図、部分図

4. 景観目標と景観づくり方針

本州で唯一の原生自然環境保全地域を源流に持ち、
大自然を誰もが気軽に満喫できる日本一清楚な温泉保養地 寸又峡温泉



5. 景観施策(案)と実施主体・時期

目標1 自然環境の魅力を誰もが満喫できる景観づくり

◎ 方針1－① プロムナードコースと寸又三山の魅力を満喫できる環境整備

	取り組み	実施主体
短期	・溪谷、夢の吊橋の眺望を良くするための修景伐採【継続】 ・情報発信及び安全対策向上のための光回線の整備【新規】	・町、関係団体 ・町
中・長期	・眺望を維持するための修景伐採 ・眺望を楽しむための展望所の整備とベンチ等の設備の整備 ・尾崎坂展望台の園地整備(案内板・休憩所の整備、トイレの改修) ・プロムナードコースが森林鉄道跡地とすることができるような仕組みの整備(展示してある森林鉄道車両の塗装等)	・町、関係団体 ・町 ・町 ・町、関係団体

◎ 方針1－② 誰もが安全に自然景観を楽しめる環境整備

	取り組み	実施主体
短期	・プロムナードコースへの落石対策工の施工【継続】 ・景観に配慮した、分かりやすい案内看板の整備、既存看板の整理【継続】 ・安心、安全な遊歩道や登山道の整備(遊歩道の舗装、排水施設の整備等)【継続】 ・誰もが楽しめる散策コースの整備【継続】	・町 ・町、関係団体 ・町 ・町
中・長期	・誰もが負担が少なく散策できる新ルートの検討、整備	・町、関係団体、事業者

5. 景観施策(案)と実施主体・時期

目標2 アクセス道路でも絶景を満喫できる景観づくり

◎ 方針2-① アクセス道路からの眺望を楽しめる環境整備

	取り組み	実施主体
短期	・眺望を良くするための修景伐採【継続】 ・眺望を楽しめるビューポイントの来訪者への周知【継続】	・町、道路管理者、地元住民 ・町、地域住民
中・長期	・森林整備計画を確認し、かつ所有者の意向を尊重し、整備箇所を決め、道路周辺の樹木を針葉樹から広葉樹への植え替えを進める ・眺望を維持するため、ビューポイントを定め修景伐採を計画的に行い、併せて眺望スペース等を確保する	・町、地域住民 ・町、道路管理者

◎ 方針2-② 移動が快適で、気軽に何度も訪れたい環境整備

	取り組み	実施主体
短期	・公共交通機関を活用してもらえるようにするための方策の検討、実施【継続】 ・季節ごとの景観の魅力を感じることができる環境整備の検討【継続】	・町、事業者、地域住民、関係団体 ・町、事業者、地域住民、関係団体
中・長期	・アクセス道路(県道77号線)で、車両の交互通行が可能となるよう関係機関への働きかけ ・マイカーの乗り入れ規制及び乗り合いバスの運行、パーク＆ライドの検討 ・電柱、ガードレールなどの構造物は、景観に配慮した形態意匠の整備に配慮し、夜間や降雨・濃霧時に安全に通行できる様、考慮し整備する	・町、事業者、地域住民、関係団体 ・町、事業者、地域住民、関係団体 ・町、道路管理者、関係団体、事業者

5. 景観施策(案)と実施主体・時期

目標3 清楚な温泉街を誰もが満喫できる景観づくり

◎ 方針3－① 誰もが清楚な温泉街を満喫できる空間を整備

	取り組み	実施主体
短期	・誰もが利用しやすいトイレ及び休憩所の整備【継続】 ・来訪者が温泉街の情報を得られ、憩いの場として利用できる広場の整備【継続】 ・住民主体による、花壇の管理や遊歩道の清掃、管理【継続】	・町 ・町、関係団体 ・地域住民
中・長期	・温泉街の景観をより楽しむための散策路や休憩所の整備 ・空き地、空き家を活用した店舗や休憩所整備の検討 ・清楚なイメージのある温泉街の文化的施設を気軽に利用できる環境整備	・町、事業者 ・町、地域住民、事業者、関係団体 ・地域住民、関係団体

◎ 方針3－② 温泉街の景観や自然景観を満喫できる環境整備

	取り組み	実施主体
短期	・案内看板等の大きさや色彩、デザインの配慮内容を示したものの整備【継続】 ・既存看板の整理【継続】 ・空き地、空き家の景観に与える影響への対応(所有者への管理の協力依頼など)【継続】 ・温泉街のイメージを高めるイベント広場の整備と季節ごとに行うイベントの検討【継続】	・町、関係団体 ・町、関係団体 ・町、地域住民、事業者 ・地域住民、関係団体
中・長期	・夢の吊橋以外の地域資源をブラッシュアップし、地域の新たな魅力とする ・既存公園等の公共施設や設備について、景観に配慮した形での改修を行う ・建物等の形態意匠の約束事を再検討し、新たな地域の基準をつくる ・温泉街の無電柱化の検討	・町、地域住民、関係団体 ・町、地元住民 ・町、地域住民、関係団体 ・町、関係団体、事業者、関係団体

6. 景観施策(案)のイメージ図

凡例 青字：短期的な取り組み 緑字：中・長期的な取り組み

